

## 総務厚生常任委員会

委員長  
瀧尻行雄

### 飯南町過疎地域自立促進特別事業基金条例の制定

平成22年度のきめ細かな交付金で子宮頸がん、ヒブ等のワクチン接種補助を行うようにしていましたが、子宮頸がんワクチン生産が間に合わないため22年度中の接種は困難になりました。ヒブワクチンは事故の可能性があり、調査中のため一時接種が見合わされています。このため基金を設置し、ワクチンの接種が可能になるまで貯蓄します。



### 飯南町課設置条例の改正

事務分掌のうち「自治振興及び地域コミュニティーの推進に関すること」を産業振興課から企画財政課へ移すものです。

これは課横断的な仕事なので、本来総務課が行うべきではないか、他の課が行う場合は権限を与える必要があるとの意見がありましたが、集落担当制と連携を取り、適切な仕事をすると回答を受けました。



### 平成23年度飯南町一般会計

#### 健康なまちづくりを目指して〔衛生費・保健衛生費〕

昨年に比べ健診率が低下しています。保健師1名の退職が影響しているのではないかと、分析の結果はどうか、節目健診は飯南病院で行うべきと思うが体制はどうか、などの質問がありました。

保健師の不足は事務職員のサポートによって現場が動きやすい体制をつくりたいです。分析は出来ませんでした。4名の医師体制ではドックで60名が限界ですが、非常勤ドクターで対応が出来ないかと努力します。との回答がありました。



#### 障がい者グループホーム・ケアホーム新設事業〔民生費・社会福祉費〕

障がい者の施設は地域と離れては意味が無い、日常生活と変わらないような生活があることが大切です。

設置場所は病院に近いなどの条件があり、結果として「あゆみの杜」で引き受けていただくことになりました。設置方法は公設民営により、定員は6名です。



## 教育経済常任委員会

委員長  
小野 覚

### 売れる米づくり事業〔農業振興費〕 ヤマトイモ推進事業〔農業振興費〕

委員から「従来の仕組みを変えるのか」という質疑に対して、今までは生産者がJAに出荷したものを、フロンティアあかぎが買い取って販売していました。

23年度は、JAに出荷した米は、精米センターを通してエコ米推進協議会が売り、売り上げの差額部分は、生産者に還元するという事業です。同時にエコ米推進協議会がPR戦略を考えます。

「町から組合への貸付金より少ない生産額で戦略作物とはいえない」「戦略作物から外せないのであれば方向性を考え直すべきでは」等々の質疑に対して、産業活性化ビジョンや国道54号アクションプランで位置づけているので、今後も戦略作物として推進するとの答えでした

戦略作物としての実態をとまなっていないと感ずるところから、方向性を示すよう意見を付しました。



特産「飯南米こしひかり」



ヤマトイモ商品

### 飯南ブランド確立推進事業〔商工費・観光費〕

新規事業のアンテナショップ開設事業ほか多様な事業が計画されているが、「ブランド看板設置の意義はあるのか」等、事業効果に対する厳しい発言がありました。

産業振興に結びつくよう目的と方向を定めるよう意見を付しました。



### 飯南高校教育支援事業〔教育費・事務局費〕



飯南高校魅力づくり対策検討会議「飯南高校ドリームアップ支援会議」の提案にもとづいて、美郷町粕淵方面へスクールバス運行、寄宿舍寮費の食費を除いた経費補助など、生徒確保に向け大幅な増額予算となっています。